Panasonic

DMX-PWM 信号変換器（8 出力）

品番：NNQ72385

取扱説明書
施工説明書

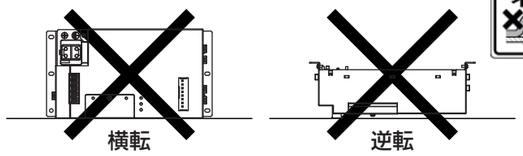
保管用

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

●本器の分解や改造および修理はしない。
　火災や感電の原因となります。
●必ず適合負荷、適合信号インターフェース接続可能台数以下で使用する。
　異常発熱や火災の原因となります。
●施工は取扱説明書にしたがい確実におこなう。
　火災や感電、落下の原因となります。
●電線は剥き代を守って、確実に差し込む。
　火災や感電の原因となります。
●天井裏に設置する際には、横転や逆転しないように確実に固定する。
　造営材を焦がす原因となります。
●屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けない。
　火災や感電の原因となります。
●断熱材（防音材などの断熱効果のあるものを含む）をかぶせた状態で施工はしない。
　火災の原因となります。



仕　様

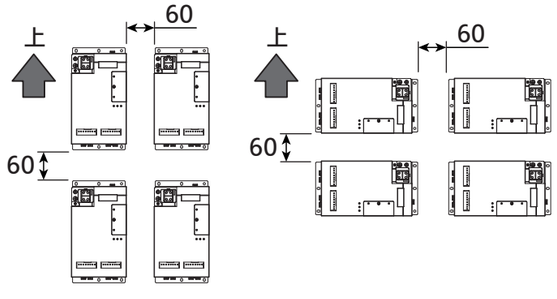
定格電圧	AC100/200V　50/60Hz共用	適合コントローラ	DMX 操作器
使用環境範囲	0～35℃（結露なきこと）	DMX端子	IN×1系統、OUT/Thru×1系統
消費電力	25W以下	PWM端子	8系統出力　設定したDMXの先頭アドレスから8ch
寸法	225×122×77（突起物含まず）	操作部	DMXアドレスSW、信号方式切替SW（PC／Hf）、モード切替SW（DMX信号保持／消灯）
質量	1.1kg		
適合負荷	当社製PWM信号電源ユニット（接続台数　1出力　最大50台）	表示部	受電、DMX信号受信、出力信号過負荷異常
		その他	DMX終端抵抗自動切換え
適合信号変換インターフェース	下記品番参照 （1出力の配線長100mの接続台数　1出力　最大10台） （1出力の配線長　50mの接続台数　1出力　最大20台） ・信号変換インターフェース・LED 電球用（NQL10101） ・信号変換インターフェース・LED 用（NQL10111） ・信号変換インターフェース・信号線式 LED 用（NQL10121） ・信号変換インターフェース・ON/OFF 用（NQL10131） ・信号変換インターフェース・アレンジ調色用（NQL10151） ・信号変換インターフェース・信号線式 LED（LR）用（NQL10161） ・信号変換インターフェース・逆位相タイプ用（NQL10171・NQL10171J） ※同一出力内で、適合負荷と信号変換インターフェイスの混在はできません。 信号変換インターフェースの適合負荷はそれぞれの取扱説明書などを参考ください。		

施工上の注意

・他社製および適合外の照明器具とは接続できません。
・故障の原因となるため、本器の電源端子にコンセントを接続しないでください。
・点検できる場所に設置してください。

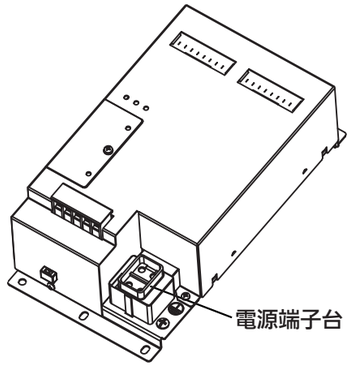
施工前のご確認

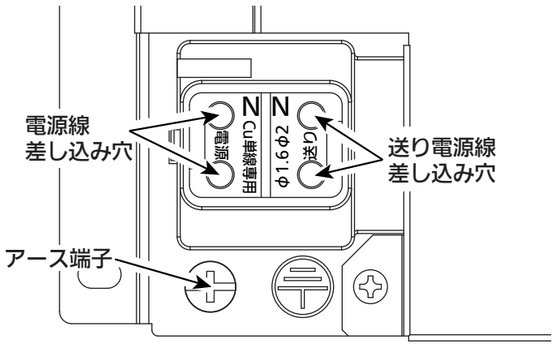
・下記のものが同梱されているかご確認ください。
　・本器、取扱説明書（本書）
　・インシュロック5本（同梱）
・DMX-PWM信号変換器の質量（約1.1kg）に十分耐えられるような箇所に設置してください。
・制御盤内に設置する際には、下記のように配列して指定の寸法以上の間隔をあけてください。
・他の熱機器などと一緒に制御盤に設置するときは、熱の影響を受けない場所に配置してください。



施工手順

1．電源線を接続する。

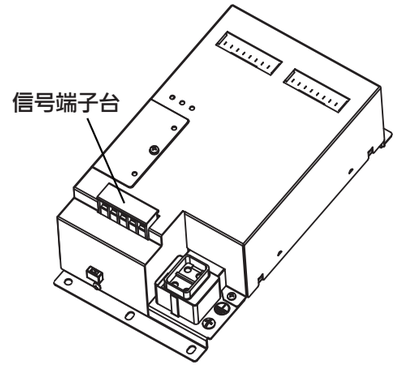


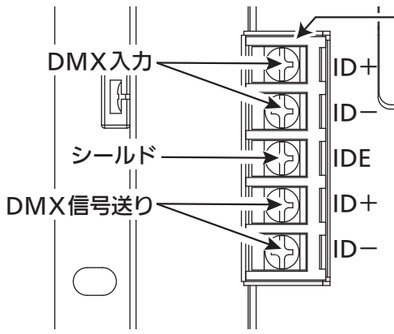


適合電線：φ1.6またはφ2.0銅単線
　むきしろ　12±2 mm

・電源線はむきしろを守って、差し込み穴に確実に差し込んでください。
・端子台の送り容量は15Aです。

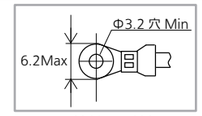
2．DMX信号線を信号端子台に接続する。





信号端子台の結線（M3端子）

適正トルク範囲
：0.5～0.75N・m

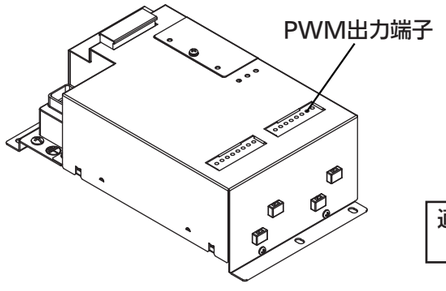


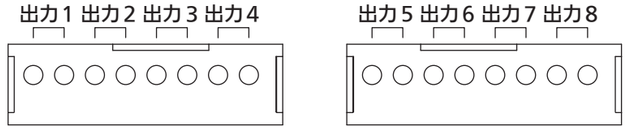
圧着端子寸法

適合電線：KPEV-SB相当　0.3mm²～0.9mm²×2ペア

・DMX信号線を他のDMX-PWM信号変換器へ送る場合は、送り用端子を使用してください。

3．調光信号線をPWM出力端子に接続する。





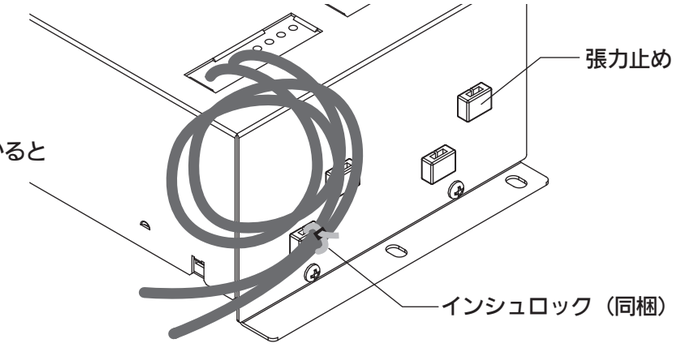
適合電線　FCPEV 相当φ0.9または、φ1.2×1ペア
　むきしろ　11±1mm

・調光信号線はむきしろを守って、差し込み穴に確実に差し込んでください。

4．各信号線を張力止めに固定する。

・信号線をインシュロック（同梱）で図のように必ず張力止めに固定してください。

DMX信号線、調光信号線に直接張力がかかると電線の抜けや断線の原因となります。



取扱説明	お客様へ、この説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。 お読みになったあとは、この説明書を大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

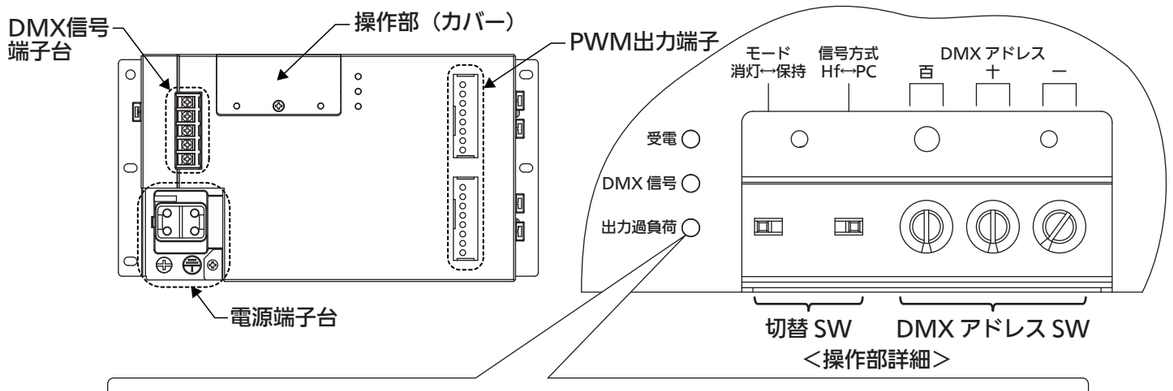
●本器の分解や改造および修理はしない。
　火災や感電の原因となります。

●接続された照明器具を交換する際は必ず本器電源を切る。
　感電の原因となります。

⚠注意

●本器には寿命があります。設置して 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
　点検・交換してください。
　※使用条件は周囲温度 35℃です。
　・周囲温度が高い場合・電源投入時間が長い場合などは寿命が短くなります。
　・1 年に 1 回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
　　3 年に 1 回は工事店などの専門家による点検をお受けください。
　点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。

各部名称とはたらき



受電（緑）… 本器へ電源が入ると点灯します。
DMX 信号（橙）… 本器に DMX 信号が入力されると点灯します。
　アドレスが 1 ～ 512 以外は点滅します
出力過負荷（赤）… PWM 出力端子が過負荷状態になると点灯します。点灯時はすべての出力が停止し、本器に接続されている照明器具がすべて点灯する場合があります。

○ モード切替 SW で【消灯 / 保持】を切替してください。
　消灯…DMX 信号断時は、PWM 信号の下限が出力されます。
　保持…DMX 信号断時は、直前の PWM 信号出力が保持されます。
　・工場出荷時は、”消灯”側です。

○ 信号方式切替 SW で【Hf/PC】を切替してください。
　電源ユニットの起動方式、信号変換インターフェースに応じて切替が必要です。
　・工場出荷時は、”ＰＣ”側です。
　・すべての PWM 出力端子に対して一括で動作します。

○ DMX アドレス SW で【アドレス】を 1 ～ 512 の間で設定してください。
　・工場出荷時は、”001”です。
　・設定したアドレス番号は、PWM 出力端子の先頭番号となります。

例）　1　　4　　8

左記アドレスに設定した場合、PWM 出力端子のアドレスは順に 148、149、150、151、152、153、154、155 となります。

―本器の電源を入切する場合の注意―

照明器具電源より先（又は同時）に電源を ON して下さい。照明器具電源より後（又は同時）に電源を OFF して下さい。順番が逆の場合、照明器具が点灯（フル点灯）する場合があります。

― DMX 入力信号の極性に関する注意 ―

本器は、DMX 入力信号の極性を逆に接続（誤結線）しても正常に動作します（誤結線判断機能）。ただし、間違えた DMX 入力信号がそのまま出力されますので、本器から別の機器へ DMX を送る場合はご注意ください。他の機器が正常に動作しない場合があります。

保証について

保証期間はお買い上げ（お引き渡し）日より1年間です。
保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
表面が温かい。	内部素子の発熱によるものです。 異常ではありません。	――
あかりがつかない。	電源が入っていない。 調光下限になっている。 結線図どおりに正しく接続されていない。	電源を入れてください。 コントローラ側で調光レベルを上げてください。 結線を再度見直してください。
調光できない。	適合負荷、適合信号変換インターフェースが接続されていない。 適合コントローラと正しく接続されていない。	仕様をご確認のうえ、適合負荷、適合信号変換インターフェースを接続してください。 適合コントローラをDMX信号端子に正しく接続してください。
あかりが消えない。	調光信号線が接続されていない。	調光信号線を本器に接続してください。

上記点検でもなお異常がある場合は、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店にご相談ください。

安全チェックシート

・下欄の各項目について確認し、該当する場合は点検結果に○を記入してください。

安全点検項目		区分	点検結果
使用状況・環境	使用期間は 10 年以上である。	B	
	使用期間は 15 年以上である。	A	
	器具の使用温度が高い（35℃以上）。	B	
	電源電圧が高い。又は低い。（定格の 106%以上、94%以下）	B	
	分岐回路の絶縁抵抗は 0.2MΩ以下（200V）又は 0.1MΩ以下（100V）である。	A	
	取付部に常時震動が加わっている。	B	
	使用場所に水気・湿気が多い。	B	
	使用場所に腐食性ガス（温泉・塩害を含む）・じんあいが多い。	B	
本器	本体が手で触れないくらい熱くなる。（60℃以上）	A	
	本体に変形・ひび割れなどがある。	A	
	塗装・めっき面などにふくれ・剥離などがある。又は錆が出ている。	B	
	焦げ臭いにおいがする。	A	
	電線に著しい変色・ひび割れなどがある。	A	
	電線接続部（端子台など）が接触不良（緩み、抜けなど）を起こしている。	A	

【点検結果の判定】

・区分 A の○印が 1 個でもあれば、調査した本器は劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っていることがあります。速やかに交換してください。
・区分 B の○印が 1 個でもあれば、調査した本器は劣化状態が進行していることがあります。交換又は継続的に点検してください。

上記項目以外でも不具合があれば、工事店などの専門家にご相談ください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社　〒 105-8301 東京都港区東新橋 1 丁目 5 番 1 号
お問い合わせ先　照明器具・ランプ商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/
0120-187-441（フリーダイヤル）【受付時間】月～土/9:00～18:00（祝日・三が日を除く）※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460(FAX)

取説 No. : NNQ72385-T　　K1013-20526